

# ぱれっと

Palette

3

2023 March  
vol.271

## 特集 青壮年部活動をご紹介します

農を担う  
イチゴ農家 岡崎 己佐雄 さん  
豊田地区……………10ページ

今月の折り込み 2023年3月号カタログショッピングチラシ ほか



特集 青壮年部活動をご紹介します

活動内容を紹介①

● JA岡山青壮年部通常総会



通常総会の様子

● JA青壮年部活動実績発表会



JA青年の主張・JA青壮年組織活動実績発表大会の様子

● 豪雨災害復興支援活動



折れた木の除去

● 農作業支援活動



苗箱を並べる様子

● 農産物のPR活動



小学生に白桃を贈呈



専門学生に白桃を贈呈

— JA青壮年部ってどんな組織? —

農業の担い手としてJAをよりどころに地域農業の振興を図り、JA運動の先駆者として活動する自主的な組織です。誰でも気軽に参加でき、メンバーは20~70代までの幅広い世代の方がいます。主に食農教育や地産地消にかかわる活動に取り組んでいます。

また、JA青年組織のネットワークを通じた盟友との交流は、営農技術の向上や自らの新たな可能性を発見する場づくりとなっています。青年組織活動により盟友の結束力を高め、新たな担い手を発掘・育成をしていきます。



— 青壮年部部長からのあいさつ —



JA岡山青壮年部 部長 秋山佳範

私たちJA岡山青壮年部は、地域4支部に約130名の部員で活動を行っています。地域のイベントや食育活動にも積極的に参加し、様々な活動を通じて部員との交流を図っています。

日本の農業情勢は、様々な面で厳しい状況にありますが、農業政策から目を離すことなく将来的に生産性の高い農業構造へ転換し、農業経営が安定するよう目指します。

JAの経営参画や次世代農業者、消費者との共生運動に参加し、活力ある地域づくりを積極的に展開していきます。



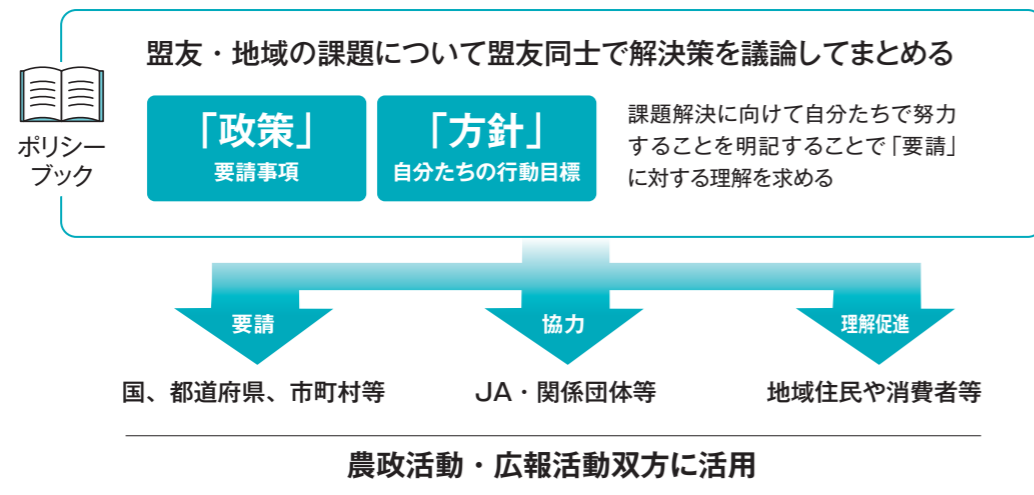
## ポリシーブックについて

全国農協青年組織協議会では、平成23年度より「ポリシーブック」の製作を開始しました。ポリシーブックを一言で表すと「JA 青年部の政策・方針集」となりますが、JA 青年部の盟友一人ひとりが営農や地域活動をしていく上で抱えている課題や問題点について、盟友同士で解決策を検討して取りまとめている点が特徴です。

政策として要請するだけでなく、まずは自分たちで解決に向けて努力し、取り組むことが明記されています。

「自分たちの行動目標」と「積み上げによる政策提言」の両方を備えたものがJA 青年部のポリシーブックになります。

### ポリシーブックの概要



## 青壮年部に参加するには

JA 岡山青壮年部は各支部によって、今回紹介した活動だけでなく、さまざまな活動を行っています。豊かな地域社会を築くために、食農教育や地産地消にかかわる活動をする組織です。

JA 岡山の組合員であれば、年齢・性別問わず加入できます。少しでも気になった方は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先

JA 岡山 営農部指導課 TEL：086-225-3224  
もしくは、最寄りの営農センターまで

## 活動内容を紹介②

### ● 産地のPR活動



地元産の麦を使って麦ストローを製作



桃の花を地元の保育園と幼稚園へ贈呈

### ● 小学生への食農教育活動



稲刈り体験

### ● 青壮年部リーダー研修会



リーダー研修会の様子



桃のせん定体験



桃の袋掛け体験





# 愛を込めて作業し おいしいイチゴづくりに励む

## 岡崎 己佐雄さん

豊田地区：イチゴ農家

「おかざき みさお」

昭和24年生まれ。㊦西大寺いちご部会部会長。イチゴを経営。趣味は骨董品鑑賞。座右の銘は「努力を惜しまない」。



イチゴづくりについて思いを話す岡崎さん

1月17日、豊田地区の岡崎己佐雄さんにお話を伺いました。

### 親のは場を引き継ぐ

―就農したきっかけは

我が家は代々続く農家で、小さいころから手伝いをして育ちました。20代のころに父が他界し、親のは場を引き継ぎ、専業農家として就農しました。

―農業を始めてからは

農業を始めた時は、イチゴと米とイ草を栽培していました。20年程前は米の請負耕作もしていました。

現在は、イチゴ「さがほのか」を8・5坪のハウスで栽培しています。いろいろな品種を栽培してきましたが、この品種は他の品種と比べて回転がはやく、量が採れることが魅力的です。栽培し始めたころは、1シーズンで4〜5回収穫していました。過去の経験を基に研究し、努力を重ね、今では1シーズンで7〜8回収穫できるようになりました。

―楽しいことは

順調に育ったイチゴを収穫したときや、形と色のよいイチゴが多く採れた時は楽しいです。手をかけている分、結果として返ってくるのとやりがいを感じます。

―大変なことは

収穫作業が大変です。最盛期にはハウスの中が真っ赤になっており、作業量が増えますが、取り残

しのないように注意して作業しています。

―栽培上でのこだわりは

害虫対策として天敵を入れて減農薬に取り組んでいます。上手くいったときは農薬を使わなくてよいので、労力軽減と費用面でも助かっています。

また、一番大事なことは愛を込めて作業することです。イチゴがおいしくなるよう努力し、ひとつひとつの作業を丁寧に行うことが大事だと考えています。

### 部会長として

### 地域を盛り上げていく

―今後の抱負は

今ある面積で品質を維持しながら収量を増やしていきたいです。部会としては、これからも各農家が努力を続けて、よりよいものを作っていく、部会を、そして地域を盛り上げていきたいです。

聞き手：JA岡山広報担当



丁寧にパック詰めしていきます



今年もよいものができています



収穫作業の様子



## 野菜

子カブと  
タマネギの説明  
をします



営農部指導課  
祇園 将人

**◎カブの栽培とタマネギの管理について**  
カブは古くから日本で栽培されていますが、原産地はヨーロッパやアジアがニスタンとなつています。比較的低温には強く高温には弱い野菜です。秋に収穫するイメージの強い野菜ですが、小・中カブは3月中旬下旬播種、5月中～6月中旬収穫が露地栽培でも可能です。今月は小カブについて説明します。また、タマネギの当面の管理についても説明します。

### ●畑の準備

土壌水分の急激な変化がカブの玉割れの原因になります。土壌水分の変化を少なくするには有機質に富み、通気性・排水性・保水性の優れたほ場が適しているため、ほ場選びには注意しましょう。  
播種の2週間以上前に、10平方メートルあたり堆肥を約20kg、石灰を約1kg施用し、耕します。カブは根が地下60cmと非常に深く伸びるので、出来るだけ深く耕す必要があります。播種の1週間前までに化成肥料（JA岡山有機専用肥料等）を約1kg施用し、畝立てします（資料1）。

あたり堆肥を約20kg、石灰を約1kg施用し、耕します。カブは根が地下60cmと非常に深く伸びるので、出来るだけ深く耕す必要があります。播種の1週間前までに化成肥料（JA岡山有機専用肥料等）を約1kg施用し、畝立てします（資料1）。

### ●間引き・追肥・土寄せ・水やり

双葉が出て展葉したころから1回目の間引きを始めます。混みすぎた所を中心に間引いていきます。同時に1回目の追肥に10平方メートルあたり化成肥料を約400g（2回目の追肥も同量）施用し、除草も兼ねて土寄せを行います（資料2）。

2回目の間引きは、本葉2～3枚になったころです。生育遅れや徒長株を間引きます。3回目の間引きは本葉5～6枚のころに行い、ここで最終株間約4cmになるようにします。同時に2回目の追肥を行い、除草も兼ねて軽く中耕します。生育期に乾燥が続くようなら適時水やりを行い、極端な乾燥、過湿にならないように注意しましょう（資料3）。

### ●収穫

大きくなったものから順次収穫していきいます。収穫が遅れると入り繋がるので適期収穫を行います。

### ●タマネギの管理について

11月号で記述しましたが、3月上旬はタマネギのべと病の防除適期となります。気温が上がり温かくな

## 花き

星形のかわいいオキシペタラムはかかか



営農部指導課  
中川 雄一

### オキシペタラム？

代名詞のようになってきているブルースターは代表品種の名前です。南米原産で、現在では白花やピンクの品種も流通しています。  
花言葉は「信じ合ふ心」「幸福な愛」「望郷」、欧米では男の子が生まれたお祝いの花束や花嫁のブーケにも使われるそうです（資料4）。

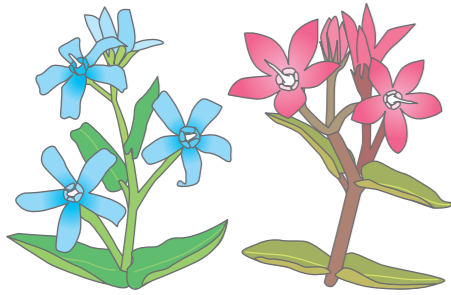
### ●生育特性など

北半球で例えると日本の九州から平均気温でも20℃強、冬でも10℃をあまり下回らない気温です。梅雨も無く、月間降水量も50～100mmなので、やや乾燥気味の環境と温暖な気象が適します。しかし、雨除けが多湿環境から守れば比較的夏にも耐えますし、暖かいところなら霜除け程度で冬越しもできます。地床栽培なら大型トンネルかハウスで雨除けしてやるのがよいと思います。日照は好みますから、梅雨明け後の盛夏期に幾分遮光して温度の上がりすぎを防げば良いでしょう。  
土づくりと排水対策をして通気のよい土壌環境を作りましょう。

### ●種播き、育苗（資料5）

発芽適温は20℃前後で、発芽率は

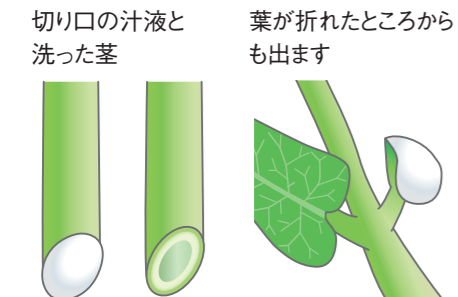
### 資料4 オキシペタラムの花 （ブルースターとピンクの品種）



### 資料5 オキシペタラムの作業時期

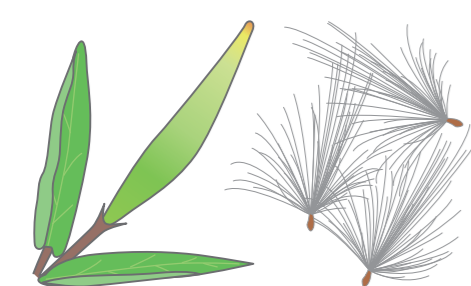
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

### 資料6 切り口から出る汁液



### 資料7 果実と種

左の莢が熟してはじけると右の種が出ます



あまりよくありません。また、直根性で最初に伸びた根を傷めないようにすることが大切です。

そのため、時期は4～5月か9～10月、セルトレイなら200穴以上の大きめのものを使います。播種から開花までに4～5カ月かかるので、春播き夏咲きをめざすには屋内での3月播きもよいと思います。この場合、長期育苗になるのでポット上げし、本葉6枚までに定植します。

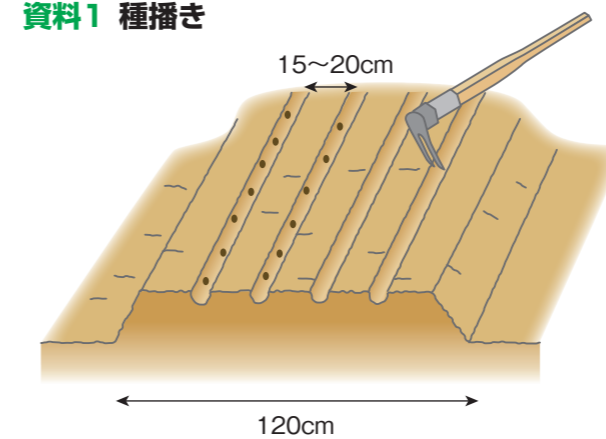
園芸用育苗培土を使い、1カ所に2～3粒播きとし、生えそろうたら1本に間引きします。発芽までには2週間くらいかかりますがその後は生育が早まり、まだ地温が低いようならやはりポットに移植して暖かくなってから植え付けます。

### ●植え付け

腐葉土、苦土セルカ等をすき込んでおき、少量の緩効性化成肥料を施用、耕うん、畝立てします。  
根を傷めないように注意して、条間30cmの2条、株間25cm程に植え付け、たっぷり灌水します。

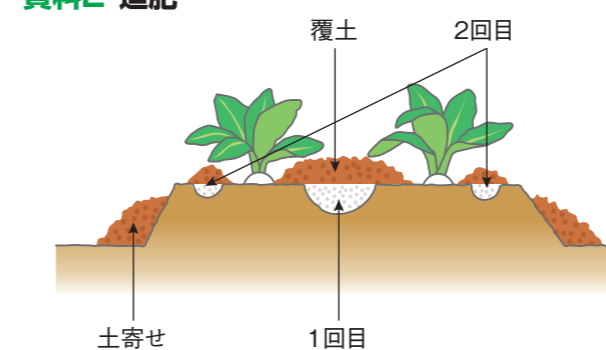
り、雨が降るとべと病が発生しやすいので発生前、発生初期には防除しましょう。また、激しく発病している株をみつけたら抜き取り廃棄することも防除に繋がります。  
その後はほ場の様子を見ながら管理し、極早生種は4月下旬から、晩生種は6月末まで収穫できます。収穫の約10日前には、収穫後の貯蔵のことも考えてもう一度殺菌剤で防除しましょう。収穫後によく乾かす。涼しい所で貯蔵することも日持ちをよくする要因になります。

### 資料1 種播き

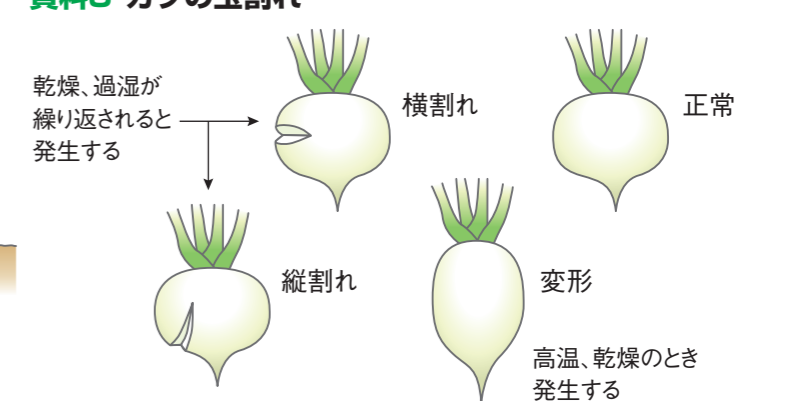


条つけ鋤で播き溝を浅くつけ、2cm程度の間隔に条播し、ごく薄く覆土する

### 資料2 追肥



### 資料3 カブの玉割れ



### ●施肥

オキシペタラムは肥料不足では生育が悪く、多すぎると徒長します。定植1カ月後くらいから10月まで、緩効性化成肥料を1～2カ月に1度追肥します。

### ●倒伏防止と切り花

50cm前後の花ですが、フラワーネットなどで倒伏防止しましょう。  
1茎に3～5輪開花したら切り花します。必ず元気な葉の上に茎が少し残る位置で切ります。全部地際で切ると枯れ込むことがあります。  
また、切り口や葉の折れた部分から白い汁液が出ます。すぐ水に浸けて洗い流すか、一旦切り口を乾かして塊を取り除き、汁液が出なくなると新しい水で水あげします。そうしないと水が上からなくなりますが（資料6）。

### ●花がら摘み

開花後は花がらを摘みましょう。そのまま着果するとその負担で開花しなくなり（資料7）。

### ●挿し木

オキシペタラムは発根率は低いようですが挿し木ができます。時期は温度が確保できる6～9月で盛夏期を避け

① 茎を10～15cmに切り、下葉を切り取り上の葉は半分に取りります。切り花同様汁液を洗い流します。

② 新しい水で1時間水あげします。

③ 前日、苗箱、平鉢などにあらかじめ新しい細粒鹿沼土などを入れ吸水させておきます。

④ 竹箸などで用土に穴を開け、オキシペロン液剤の2倍液に切り口を浸けた挿し穂を挿し込みます。

⑤ たっぷり灌水します。

キクなどの挿し芽同様、木陰に置か遮光するなど、直射光と風が当たらないようにして管理します。

乾いてしまわないよう灌水しますが、過湿だと発根しにくくなります。

発根には少し日数が掛かりますが、根気よく管理しましょう。使う茎は開花前のものの発根率が高いという試験成績があります。



# 果樹

3月は柑橘類の植え付けの時期です

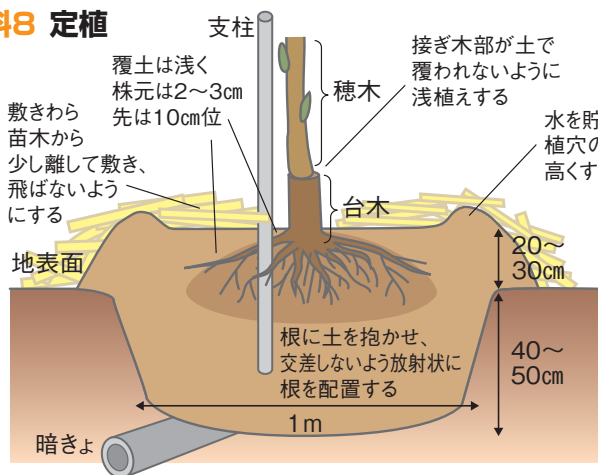


営農部指導課 武田 祐一

3月は果樹苗木の植え付けとビワの摘果・袋掛けについて参考にしてください。

## 一 かんきつ類の植え付け

3月は柑橘類の植え付け時期になります。柑橘類の苗木は常緑樹なので1年中、葉がついています。寒さに弱いので、できるだけ暖かくなってから植えます。JAへ注文している方は、3月末〜4月上旬には配付されます。



## 二 果樹苗木の植え付け

●土づくり  
植穴の準備は定植の1カ月前までには完了しておきましょう。

直径1尺、深さ40〜50cmの植穴を掘ります。この時に大きな石や根などがあれば取り除いておきましょう。施肥量は土質によって加減が必要ですが、良質堆肥20〜30kg、苦土石灰または苦土セルカ2号を1〜2kg、溶リン2kgを目安に施用し、土とよく混和して馴染ませておきます(資料8)。この時に排水対策として、20〜30cmの盛り土しておきますが、盛り土は降雨などで鎮圧されると低くなりますので、若干高めに作っておきましょう。

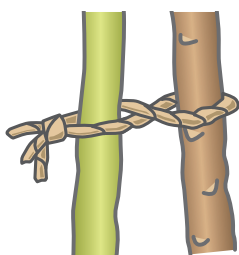
## ●苗木

苗木は、植え付けまでは根を乾かさないうちに管理します。特にかんきつ類は乾燥に弱いので注意が必要です。苗木は40〜60cm程度で切り戻し、切断面にトップジンMペーストを塗布し、保護しておきます。

## ●植え付け

まず、小高い丘を作り、植え付け位置に支柱を立てます。根が交差しないように四方に広げ、根の先端が下方となるように配置し、細かい土で覆土してたつぷ

## 資料9 誘引方法



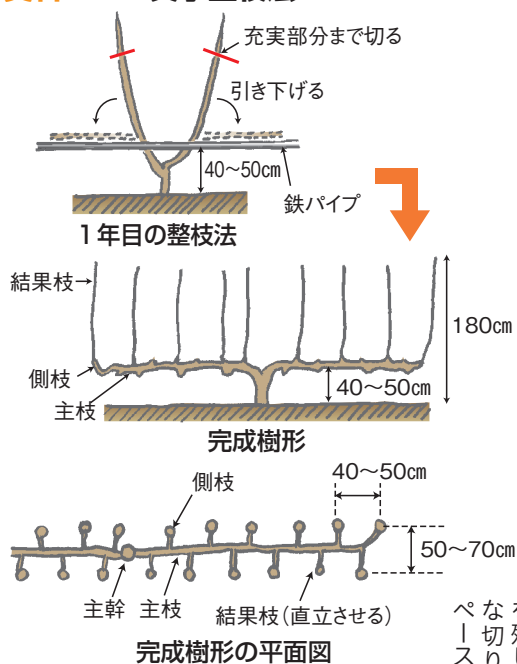
結束は8の字が基本

## 資料10 ビワの摘果と袋掛け



田中は2果、茂木は3〜4果程度残し、一緒に袋を掛ける

## 資料11 一文字整枝法



## ●摘果

●摘果  
果実が大きくなり始める4月上旬になり

## 三 ビワの袋掛け

寒さが落ち着いた3月下旬〜4月上旬ごろの晴れた日の日中に袋掛けを行います。袋掛け前には摘果を行い、果数の調整を行います。

りと灌水します。植え付け後は水鉢を作り、その中に水をたっぷりめに注ぎ込みます。水鉢に水が溜まった程度では根の周りまで水が到達していない場合があるので少し土に指を差し込んで確認してみてください。このようにすることで土壌水分の確認ができ、土と根を馴染ませることができ、苗木は接ぎ木部から30cm程度の所で、芽接ぎ苗は、接ぎ位置から10cm程度の所で切り返し、支柱に誘引します。風などで苗木が倒れないように支柱に誘引します。この時に注意したいのは苗木が太る過程で、紐が苗木に喰い込んで首を締めないように8の字を描くよう紐で緩めに誘引します(資料9)。その後は土壌の乾燥防止と雑草の発生防止のため、稲わら等で株元にマルチします。乾燥には十分注意し、10日間程度の間にもまとまった降雨が無ければ灌水を実施しましょう。

## ●袋掛け

病害虫等の被害が心配なら、摘果が終わった後、早めに袋掛けをしましょう。

「田中」などの大果品種は1〜2果ごとに、「茂木」などの小果品種(3〜4果)は果房ごと袋を掛けます。袋の口を大きく開き、果房をまとめて包み込みます(資料10)。この時に果軸を折らないように注意しましょう。

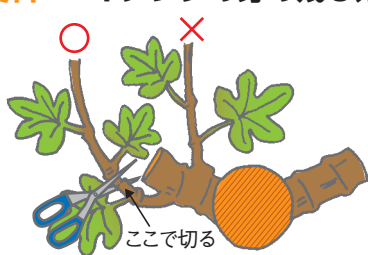
## 四 イチジクのせん定

●せん定  
柵井ドーフィンには豊産性が日本でも最も流通している品種です。樹勢は中程度なので、一文字整枝に仕立てると作業効率が向上します。

## ●せん定

柵井ドーフィンは、耐寒性が低いため寒さのやわらぐ3月中下旬ごろに行います。結果母枝の基部1〜2芽(下芽を残します)を残して枝を切り取ります(資料12)。大きな切り口ができた時には、トップジンMペーストで切り口の保護を行います。

## 資料12 イチジクの芽の残し方





### 黄ニラ餃子チャーハン!!

#### 材料 (3個分)

- ご飯…………… 1合
- 黄ニラ…………… 15g
- 冷凍餃子 …… 276g(12個分)

#### <調味料>

- 濃口醤油 …… 大さじ1
- 酢 …… 大さじ1
- ごま油…………… 小さじ1弱
- ラー油…………… 小さじ1/2強

- 黄ニラをキッチンばさみで0.5cmに切る。
- フライパンにごま油をひき、中火で冷凍餃子を約3分焼く。フライパン上で餃子をキッチンばさみで細かく切り、さらに約2分炒める。
- 火を止めて、ご飯、醤油、酢、ラー油、黄ニラを加え、混ぜる。
- 強火で30秒から1分炒め、水分が飛んだら火を止めて握る。

#### Point!

岡山の特産品である黄ニラを使用しました。少ない材料で、かつ簡単に作ることができ、万人受けする味です。餃子をあえて細かく刻み、チャーハンに入れるという斬新な発想がポイントです。



## あぐろ グラム

編集後記

## 牛窓～前島 つないだ功績に感謝

今回のあぐろグラムでは、瀬戸内市牛窓町牛窓の前島にある記念碑について紹介いたします。この記念碑は、2005年に牛窓と前島をつなぐフェリー乗り場「新御堂港」の竣工を記念して、建立されたものです。横の顕彰碑には元岡山県議会議員元浜貫一さんと牛窓町長田中義之さんへの感謝が記されています。

前島地区は野菜の栽培が盛んで、遊歩道やサイクリングコースも整備されています。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

編集担当 久山隆一



各種媒体で情報発信



オンラインショップ  
はなやか  
オンライン



Instagram



Twitter



YouTube

